

我が町の自慢

【概況】

香芝市は、奈良県の北西部にあり、金剛生駒紀泉国定公園を挟んで大阪府に接しています。道路網では大阪市から三重県津市を結ぶ国道 165 号、和歌山県新宮市から大阪府枚方市を結ぶ国道 168 号、及び大阪府松原市から名古屋方面にリンクする西名阪自動車道香芝インターチェンジを有しています。鉄道網では JR 和歌山線、近鉄大阪線及び近鉄南大阪線が市の中心部を縦横に走り、8 つの駅を有し、大阪市内へは最短 22 分という至便なところに位置しています。

【香芝市の現況】

位置:東経 135° 41' 55" 北緯 34° 32' 29" (世界測地系)

面積:24.23km² 範囲:東西 7.27km 南北 6.27km 標高:最高 269.7m 最低 40.0m

人口・世帯数 76,916 人(男:36,914 人 女:40,002 人)28,442 世帯(2012 年 3 月末日現在)

【香芝市出身の有名人】

楢崎正剛(サッカー選手・1998 年、2002 年 FIFA ワールドカップ日本代表 GK)

山本貴司(水泳選手)

吹石一恵(女優)

白石涼子(声優)

奥村彪生(伝統料理研究家)

笑福亭鉄瓶(落語家)

ヘッドライト(お笑い)和田友徳(芸人)

【香芝の沿革】

「香芝」。その名の歴史はまだ新しく、命名の由来は、昭和 31 年の五位堂村、下田村、二上村、志都美村 4 村合併の少し前、昭和 24 年に開校した 4 村及び當麻町加守村(当時)の組合立「香芝中学校」の「香芝」を採用したものです。

この名は、広く一般から公募し、当時の県視学中川良秀氏らによって命名されました。「香芝」は、香芝中学校がある小字「香の池尻」の俗称地名「カマシバ」の転訛の説が有力で、大字の「鹿島」があったことや下田の鹿島神社の鎮座する「鹿島(カシマ)」との間に小字「鹿島前(カシママへ)」があったことや、これが、「カマシマへ」と訛り、音節の転倒によって「カマシバ」…「コウノシバ」「香の芝」となったのだと考えられています。

【産業】

- ・本市の産業就業者は 28,165 人(平成 12 年国勢調査)でサービス産業を中心とし、第 1 次産業が特に低い就業構造となっています。
- ・本市の中心産業である卸売・小売業、飲食店、製造業の事業所、従業者はともに減少しています。(1次産業:0.7%、2次産業:33.7%、3次産業:65.0% その他分離不能:0.5%)
- ・経営耕地面積は都市化とともに著しく減少しています。
- ・平成 15 年の工業出荷額は 426 億 1,300 万円(工業統計調査)で、平成 12 年(546 億円 7,700 万円)以降大きく減少しており、奈良県の市のなかでは低い位置にあります。
- ・平成 14 年の商品販売額は 597 億 5,600 万円(商業統計調査)で、平成 9 年からその伸びは低いものの増加傾向にあります。人口増に伴う高い購買力を有しているものの、吸収しうる商業基盤が不足しています。
- ・本市には、県の天然記念物であるどんづる峯や旗尾池、阿日寺など豊かな自然や歴史遺産など多くの観光資源がありますが、その利用者は横ばいの傾向にあります。

【土地利用】

- ・本市の土地利用は山林、宅地の割合が高くなっています。また、近年、農地、山林の減少が著しく、宅地、道路に転換されていることがうかがえます。
- ・土地利用面積割合(昭和 63 年度、平成 8 年度、平成 16 年度都市計画基礎調査)の推移をみると、市街化区域では山林、農地が大きく減少し、逆に宅地、道路は増加しています。また、大阪に近い立地条件と住宅地価の割安感が大きな魅力となり、志都美駅周辺、二上駅周辺地区、五位堂駅周辺地区などで大規模な住宅団地などの宅地開発が進んでいます。また、市街化調整区域の土地利用は田、宅地が減少し、道路などが増加しています。
- ・平成 17 年3月末現在の市街化区域面積の割合は、奈良県都市計画区域で 3 番目に高く、用途地域は住居系用途地域が市街化区域の約 87%を占めています。県平均と比較して商業系用途地域の割合が低くなっています。
- ・本市の豊かな緑や景観などを保全するため、都市計画法やその他関連法・条例に基づく地域・地区指定が行われています。

【市街地・住宅】

- ・本市の人口は市街地に集中する傾向にあります。
- ・土地区画整理事業が計画的に進んでおり、人口増加の受け皿となっています。
- ・本市の中心市街地やその他駅周辺の古くから形成された市街地では、道路などの公共施設の不足とともに木造建築物の老朽化が進行しています。
- ・高度成長期に開発された大規模な住宅団地では少子高齢化が進み、活力が低下しつつあります。
- ・市街化区域内農地が残存する地区では、小規模な住宅開発が進行しています。

- ・本市の住宅居住水準は比較的高く、本市に持ち家を求める一方、借家需要が高くなっています。また、市営住宅は老朽化に伴い、建替が進められています。

【緑と景観】

- ・平成 17 年 3 月末現在の都市公園の人口一人当たり整備水準は 4.38 m²、大和都市計画区域(平均 11.05 m²)27 市町村中 19 位に位置しています。計画的に整備された市街地等を除いて公園等が不足しています。
- ・本市ではグラウンド、テニスコート、体育館など多様なレクリエーション施設が整備されています。
- ・本市の豊かな自然環境は各種法規制により保全されていますが、平成 12 年度に策定した香芝市緑の基本計画では、市街化区域内の緑地率は 14.2%で国の目標値(30%以上)を大きく下回っています。
- ・本市では豊かな自然・歴史的景観が形成されており、これら景観の保全や市街地における豊かな景観の創出などが求められています。

【感想】

30~40 年前頃を思い出すと大阪の空気と香芝のそれとの違いを感じておりました。つまり、大阪で仕事をして帰ってくると鼻孔が黒く汚れていたが、休日などで香芝に居たときはそんなことは全然感じなかった。今は、大阪の空気がよくなったのか香芝の空気が悪くなったのか変化はなくなったようである。変な話をしましたがこれが実感、また通勤で鶴橋に出るのが 40 分近くかかっていたのが今は 23 分程度、大阪が近くになりました。ただ、確かに川の水が汚れているのが残念です。夏にホテルを見ることがなくなったのが残念である。

さて、2012(平成 24)年 3 月 28 日に奈良県平野部の中和幹線が全面開通しました。香芝市から桜井市までの約 22kmを東西に結ぶ幹線道路です。国道の渋滞緩和や地域の活性化が期待されています。都市計画決定されてから 32 年もかかりました。

東の方から走ってきますと道路の西前方にきれいな山が見えます。その山は二上山です。「にじょうざん」や「ふたかみやま」と呼ばれています。「天(あめ)の二上(ふたかみ)」とも呼ばれる歴史豊かな山です。二つの峰があっても、一つの山なの？はい。高い方が雄岳(おだけ)で標高 517m、低い方が雌岳(めだけ)で標高 474m です。昔、火山だった(約 1000 万年前に噴火が終わり)が今は火山ではありません。火山だった証拠に石器の材料サヌカイトが採れます。サヌカイトは安山岩の一種で、日本では黒曜石と並ぶ石器の材料です。近畿地方では二上山からしか産出しません。司馬遼太郎の母の実家が二上山の麓の葛城市竹内にあります。子供の頃、サヌカイト石器で遊んだ思い出を「街道をゆく」に書いています。二上山に沈む夕日が美しいと聞いたけど…香芝市にある千股池(ちまた)池の堤が撮影ポイントです。二上山の夕日は、西方極楽浄土の世界を象徴していると言われていました。

平安時代、二上山のふもとの香芝市で源信という高僧が誕生しました。彼は「往生要集」を著

しました。その影響で浄土宗や浄土真宗が生まれました。現在も5月14日には當麻寺で「練供養会式」が営まれています。これも源信が始めたと言われていいます。二上山とえば、ゆかりの人として大津皇子を思い出しますね。万葉集の「うつそみの 人にあるわれや 明日よりは二上山を 弟世(いろせ)とわが見む」という歌が有名です。大津皇子は謀反の罪で処刑され、二上山に葬られました。この歌は姉の大佰皇女が悲しみの中で、これからは二上山を大津皇子だと思って生きていこうという切ない歌です。二上山に沈む夕日を見ながら思い出してほしい万葉集秀歌です。

(杉田 博 2012/4/25 報告)



(二上山:良福寺千股池より)

(参考)

▼奈良県香芝市地図(Google)

<http://j.mp/JwFiRP>

▼香芝冬彩 2011(動画)

<http://youtu.be/mxbfLzZgAEU>

▼株式会社スギタ

<http://www.sugita-corp.com>